

授業計画（シラバス）

■科 目	保存修復学		■講師名	保坂 誠
I 部 1 学年	後期	10 コマ (1 コマ 90 分授業)	総時間 20 時間	講義 1 単位
■学修概要	保存修復学の概要を学び、歯牙硬組織に由来する疾患の成立機序や、う蝕などにより欠損した歯牙硬組織の修復（治療）方法について学習する。			
■授業目的、到達目標	保存修復学における歯牙硬組織疾患の診査・診断・治療の手順と歯科衛生士の役割について修得する。			
■授業方法	講義			
■教科書（書籍名・出版社）	歯科衛生学シリーズ 「保存修復学・歯内療法学」 全国歯科衛生士教育協議会編集 医歯薬出版刊			
■成績評価・講義上の注意	定期試験、出席率、授業態度の総合評価			
■実務経験	歯科大学保存修復学講座で臨床、教育を行った後、歯科衛生士校で教育を長年にわたり担当してきた。 また、臨床経験を活かし歯科臨床研修医の教育・指導に携わっている。			
■授業計画（講義の流れ）				
1	保存修復の概要、硬組織疾患			
2	窩洞と保存修復治療			
3	保存修復治療の準備			
4	コンポジットレジン修復（1）			
5	コンポジットレジン修復（2）			
6	セメント修復、歯の漂白			
7	間接法修復（1）メタルインレー修復			
8	間接法修復（2）セラミック/ハイブリッドセラミックインレー修復、CAD/CAM インレー修復			
9	ベニア修復、合着材および接着材、アマルガム修復、補修修復、歯科衛生士の役割、まとめ			
10	定期試験、解答解説			